

平成 30 年 2 月 28 日

愛 媛 大 学

市民公開講座 「遺伝子の変化によって起こるがんを理解しよう」

平成 30 年 3 月 17 日（土）、松山市医師会館 3 階いきいきホールで、遺伝子医療の現状を考える市民公開講座「遺伝子の変化によって起こるがんを理解しよう」を開催します。

今回は、近畿大学大学院総合理工学研究科遺伝医学の田村 和朗（たむら かずお）教授をお招きし、「ひとり一人の遺伝子がわかる時代のがん治療～遺伝性腫瘍って知ってますか？～」の演題で、また愛媛大学大学院医学系研究科小児科学の江口 真理子（えぐち まりこ）准教授が「がんと遺伝子～愛媛県の遺伝子医療の現状と愛媛大学医学部附属病院での取り組み～」の演題で講演します。遺伝子医療の現状について、直接話を聴くことが出来る大変貴重な機会となりますので、是非、ご参加ください。

※この公開講座は、文部科学省事業「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材（がんプロフェSSIONナル）』養成事業」の一貫で開催するものです。本学は、岡山大学が中心となり実施する養成プログラムに参画しており、平成 29 年度から当該事業に採択されています。

つきましては、広く周知いただくとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：平成 30 年 3 月 17 日（土） 13:00～15:30（開場 12:30～）
場 所：松山市医師会館 3 階 いきいきホール（松山市藤原 2-4-70）
対 象：一般の方 [定員 200 名]（入場料無料、事前申し込み不要）
プログラム：別紙のとおり
駐 車 場：駐車場に限りがございます。
できる限り公共交通機関をご利用ください。

※資料 2 枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学大学院医学系研究科
臨床腫瘍学講座
TEL：089-960-5969

遺伝子医療の現状を考える 市民公開講座

入場無料
定員200名

－ 遺伝子の変化によって起こるがんを理解しよう －

(平成29年度第6回愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテシブコース講習会)

2018年3月17日(土) 13:00～15:30

松山市医師会館 3階 いきいきホール

愛媛県松山市藤原2-4-70

13:00 開会挨拶

愛媛大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 薬師神 芳洋

● 講演1 13時10分～14時10分

「がんと遺伝子

～愛媛県の遺伝子医療の現状と

愛媛大学医学部附属病院での取り組み～」

江口 真理子

(愛媛大学大学院医学系研究科 小児科学 准教授)



14:10～14:20 休憩

● 講演2 14時20分～15時20分

「ひとり一人の遺伝子が

わかる時代のがん治療

～遺伝性腫瘍って知ってますか?～」

田村 和朗

(近畿大学大学院 総合理工学研究科 遺伝医学 教授)



【田村 和朗先生ご略歴】

近畿大学理工学部生命科学科教授。日本家族性腫瘍学会副理事長(家族性腫瘍カウンセラー)、日本人類遺伝学会評議員(臨床遺伝専門医制度委員会委員、認定遺伝カウンセラー制度委員会委員)、日本遺伝カウンセリング学会評議員。

15:20 閉会挨拶

愛媛大学大学院医学系研究科 小児科学 准教授 江口 真理子

共催：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム、愛媛大学医学部附属病院

お問い合わせ

愛媛大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座 TEL：089-960-5969